

## まつなみリサーチパーク

### 【人員体制】

所長 1 名、研究員 11 名、非常勤研究員 1 名、顧問 1 名、事務局 3 名

### 【概要】

新しいアイデアによる時代に即した医療を目指し、肥満症・糖尿病治療に関する研究、医療器具等の製品化に向けた研究、社会医学に関する研究等を行っております。

### 【2017 年度の取り組み】

#### ① 肥満症、糖尿病治療に関する研究

肥満症・糖尿病の治療法について研究を行っております。現在、米国・欧州・中国に国際特許を出願中です。2017 年 4 月 1 日より、国立大学法人東京大学に社会連携講座「肥満メタボリックケア講座」を開設し、RIZAP 株式会社・社会医療法人河北医療財団河北総合病院と共同で研究が行われています。

#### ② 新しい採血検査器具の開発

安全に、安価に、採血・検査できるデバイスの開発を企業と共同で進めております。今年度は、欧州・中国の特許を取得しました。米国は、特許出願中です。

#### ③ 新たな緊急用医薬品の開発

体調の急変時を想定し、医薬品の開発研究を行っております。国内特許を出願中です。

#### ④ 地域における在宅医療推進に関する活動

住民がより安心・安全に在宅医療が受けられるよう、ドクターコール付き生体情報発信装置（「いつでもウォッチ®」）を用いた「在宅医療支援システム」の構築を進めております。今年度は、病院内・特別養護老人ホームにて実証実験を行いました。実証実験から得られた結果より、問題点を検証し、実用化に向け改良を重ねています。

#### ⑤ 地域における包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築

現在、個々の健康情報がいろいろな所にさまざまな形で分散しているため情報の統合ができず、情報を入手するために手間がかかることが問題となっております。今回、病院・診療所・歯科診療所・薬局・訪問介護ステーショ

ン・介護サービス事業所などをネットワークで結び、個々の診療情報（病名・処方・血液検査結果）・介護情報を共有し、より適切な医療・介護を行うクラウド型 EHR（Electronic Health Record：電子的医療健康情報）システムづくりに取り組みました。

#### ⑥ 先制医療に関する研究

健診者のご協力によって得られた健康情報（健診・食・ストレス等のデータ）と血清サンプルを経時的に保管し、データベース化することを一般社団法人健康科学リソースセンター（RECHS）と共同で行っています。これを用いて病気の一次予防や早期診断の研究に役立てます。

### 【実績】

#### <特許取得>

国際

「体液採取デバイスおよび検査デバイス」

・欧州特許を取得 2018 年 1 月 17 日  
（特許第 3045112 号）

・中国特許を取得 2018 年 2 月 16 日  
（特許第 ZL201480050554.0 号）

#### <商標取得>

・「いつでもウォッチ®」、登録第 5951556 号、  
2017 年 6 月 2 日

#### <出願中特許>

国内

・「アレルギー症状の予防又は治療剤」、  
特願 2016-019275

国際

・「医療用器具」、PCT/JP2015/57361

・「アレルギー症状の予防又は治療剤」、  
PCT/2017/003208

#### <その他>

・「平成 29 年度 岐阜県地域在宅医療  
提供体制推進事業」採択

・「平成 29 年度 岐阜県医師会勤務医部会  
調査・研究助成金」採択

・「平成 29 年度 総務省  
クラウド型 EHR 高度化事業」採択

〔文責：吉川智美〕